

## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念であるが、その時点、その環境、現状に合った理念を設定する必要がある。また、設定することが目標ではなく、実践に活かされることが大切である。	現状から見て、わかりやすく、業務中にもその理念が認識できて、日常的に活かされるようにしたい。	そのためにはトップダウンではなく、ボトムアップによる理念の構築が出来るように、共同作業で作り上げたい。	12ヶ月
2	4	委員の出席が低調である。ホームとしての取り組みにも、運営推進会議の必要性の意識高揚や周知の仕方に課題があると思われる。	委員一人ひとりがホームの運営は、地域住民が認識し、運営や仕方に協力しなければならないような雰囲気や気風を醸し出せるようにしたい。	委員の選考に当たっては、介護保険や福祉施策に関心ある方、利用者や家族も、より良いホームにするために意見や要望、提案し易い環境を作る必要がある。	6ヶ月
3	35	災害対策で火災や地震時の避難場所は確保されているが、水害時の避難場所は遠方で海拔もホームとほぼ同じである。	標茶町など行政とも協議して、水害時の避難場所をより安全な場所を確保したい。	標茶町水害対策本部と協議し、具体的な場所の確保を構築したい。	12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。